


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	せき はるゆき	
氏名	関 治之	
所属・役職	一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事 株式会社 HackCamp 代表取締役社長 合同会社 Georepublic Japan 代表社員 CEO	
活動拠点	全国	
略歴	平成 7 株式会社 SSE 入社 平成 1 2 株式会社 SSE 退職 平成 1 2 株式会社 スポーツナビゲーション 入社（平成 1 5 年にヤフー株式会社に営業譲渡） 平成 1 5 ヤフー株式会社 退職 平成 1 5 株式会社 VIBE 入社 平成 1 8 株式会社 VIBE 退職 平成 1 8 株式会社 シリウステクノロジーズ 入社（平成 2 2 年にヤフー株式会社に売却） 平成 2 1 合同会社 Georepublic Japan 設立、代表社員 CEO に就任（現職） 平成 2 4 ヤフー株式会社 退社 平成 2 5 一般社団法人 コード・フォー・ジャパン 設立、代表理事に就任（現職） 平成 2 6 株式会社 HackCamp 設立、代表取締役社長に就任（現職） 令和 3 デジタル庁 プロジェクトマネージャーに就任（非常勤、現職） 令和 4 デジタル庁 シニアエキスパート（シビックテック）に就任	
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・データ活用 2011 年頃よりオープンデータ推進に力をいれており、オープンデータについての戦略作りなどを手伝えます。内閣官房のオープンデータ伝道師でもあります。また、一般社団法人コード・フォー・ジャパンでは自治体職員向けのデータ活用ワークショップ、データアカデミーを行っており、官民データの具体的な利活用についてのアドバイスを行えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携（シビックテック） 地域コミュニティづくりと、官民連携の為にテクノロジー活用（シビックテック）を推進する、一般社団法人コード・フォー・ジャパンの理事として、官民連携についてのアドバイスを行うことができます。
	一方で、東京都、浜松市、西粟倉村、神戸市他、様々な自治体のアドバイザーや、デジタル庁のプロジェクトマネージャーとして、官の立場からも官民連携やデジタルトランスフォーメーションを進めています。	

<p>専門分野</p>	<p>オープンデータ A I 活用 生成 A I 活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム）</p>
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>自身もエンジニアとして様々な実務経験がありつつ企業経営も行っており、最近では非常勤職として神戸市のチーフ・イノベーション・オフィサーやオープンデータ伝道師、総務省の各種委員会の委員なども拝命しており、戦略的な面から具体的な現場レベルまでオールマイティなサポートが可能です。特に、自治体職員のデータ活用や人材交流については力を入れています。全国各地にネットワークがあるコード・フォー・ジャパンのコミュニティとも連携が可能です。</p>
<p>関連サイト</p>	<p>https://www.linkedin.com/in/halsk/ http://code4japan.org</p>
<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>2011 年、東日本大震災時に、情報収集ツール「sinsai.info」を立ち上げ 2013 年に一般社団法人コード・フォー・ジャパンを立ち上げ 【論文】 2016 年 4 月：浪江町におけるタブレットを利用したきずな再生・強化事業－住民参加型の課題定義から開発プロセスまで（情報処理学会デジタルプラクティス, 7(2), 104-11）（2016 年度デジタルプラクティス論文賞受賞） 2011 年 10 月：東日本大震災復興支援プラットフォーム sinsai.info の成り立ちと今後の課題（情報処理学会デジタルプラクティス 2(4), 237-241） 【書籍、寄稿】 2015 年 4 月：位置情報連動型ビジネス調査報告書 2016 2015 年 4 月：オープンガバメント推進団体による先進自治体との協働事例（寄稿、行政&情報システム 51 号） 2014 年 10 月シビックテックとオープンデータ（オープンデータ） --（国内での推進と社会課題解決）（寄稿、智場（119）） 2013 年 10 月 1 日 東日本大震災と VGI (Volunteered Geographic Information) について（〈特別小特集〉東北から明るい未来を創る ICT 技術）</p> <p>これまでの関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>平成 29 年以前にアドバイザーとして関わったプロジェクト 内閣府、神戸市、茂原市、新潟市、大津市、兵庫県、茨城県、南砺市、いわき市等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報通信月間」関東総合通信局長表彰 ・総務省 地域 IoT 実装推進タスクフォース人材・リテラシー分科会 委員 ・総務省 IoT 新時代の未来づくり検討委員会 産業・地域づくりWG 委員 ・総務省 地域におけるビッグデータ利活用の推進に関する実証 委員 ・新潟市 製造業 IoT チャレンジ事業実施業務委託 審査員 ・多摩地域市町村情報システム研究協議会主催 オープンデータ利活用推進セミナー 講師 ・ICT 地域活性化大賞 2017 審査 ・新潟県 IT&ITS 推進協議会 セミナー 講師 ・北海道地域 IoT フォーラム in 森町 講師 ・第 4 回地域 IoT デザインハブ@宇都宮 講師 ・地域情報化アドバイザー全体会議 分科会 副座長 ・関東総合通信局 地域情報課アドバイザー会議

・三重県市町村振興協会

平成 30 年度にアドバイザーとして関わったプロジェクト

・内閣官房 第 5 回オープンデータワーキンググループ

・総務省 IoT 新時代の未来づくり検討委員会 産業・地域づくりWG 委員

・ICT 街づくり推進会議 スマートシティ検討 WG メンバー

・フランス大使館主催 オープンデータに関する討論会 登壇

～中略～

令和 3 年に関わったプロジェクト

地域情報化アドバイザーとして

・大阪府泉佐野市 DX 推進の共通認識と機運の醸成（講演）

・兵庫県たつの市 DX 人材育成、及びワークショップ実施、戦略についてのアドバイス

・千葉県船橋市 シビックテック団体との協業について相談

・群馬県太田市 データを活用した地域課題の解決についての講演と QA

その他のアドバイザーとして

・東京都チーフデジタルフェローとして、デジタル戦略についてのアドバイス実施

・西栗倉村 CIO として、村の情報化推進計画の立案

・浜松市フェローとして、市のデジタル戦略についてのアドバイスを実施

・兵庫県の有識者として、ドローン活用事業の審査やアドバイスを実施

・山口県フェローとして、県の情報化戦略についてのアドバイスを実施

・枚方市フェローとして、市の情報化戦略についてのアドバイスを実施

・神戸位 CIO として、スタートアップ連携についてのアドバイス実施